

月報 2022 年 1 月 31 日 No.372

石城山岳会

1 月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

大笹山 (677m)

上三坂・愛宕山 (693m)

栄蔵室 (881m) ・花園神社奥乃院峰

1 月登山教室「雨巻山登山」

1 月登山教室「雨巻山」

三座縦走 (鶴石山～三大明神山)

スキー合宿 (猪苗代)

鬼太郎山 (750m)

大笹山（677m）

2021 年 12 月 25 日（日） 太

大笹山は芝山から南西に 3.4km の古殿町にある。名前だけ知っていたが、登る機会を得た。

国道 349 号から古殿町大字山上字松久保にある東禅寺の前を通過して、同町大字論田字下くまだか巢との境界になる峠で駐車した。道路が少し広い場所があり、通行の邪魔にならず車を止められる。

マイクロバスが廃棄された場所の向かい側を、尾根に沿って登っていく。松林と杉林の間を進むと、ところどころに松の倒木や点在する岩もあった。日差しが強く差し込まないせいで、藪になっておらず、歩きやすい。すぐに山頂に着く。

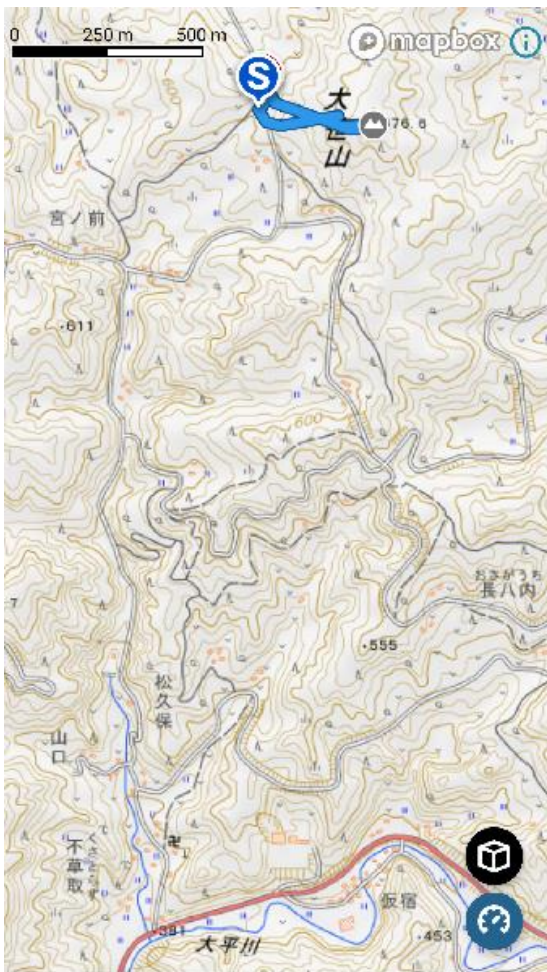
山頂には三等三角点（点名「大笹山」676.62m）標石があり、その少し先に石碑が2つと、樹木に掲げられた山名板がある。石碑のひとつは判読できないが、もうひとつには大きく「東堂山」と刻まれている。山名板は小さな手づくりで「大笹山△677m」と書かれている。比較的平らな山頂で、雑木林のために展望はない。

下山は、概ね登ったルートで、歩きやすい場所を選んで下った。

文責：太

タイム

11：25 松久保・論田峠→11：40 大笹山→11：55 松久保・論田峠



上三坂・愛宕山（693m）

2021 年 12 月 25 日（日） 太

郷土誌（三阪小学校）によると、三和町上三坂の市境に「愛宕山」と云う山があるとのこと。

※ 愛宕山 大字上三坂ノ正西石川郡小平村大字北方（現在の平田村大字北方）境二峙ツ高サ六九三、六米アリ形富士山ニ似タリ芝山ノ鉄鑛脈連互シ磁鉄ニ富ム全山磁鉄鑛ヨリ成レリ

地理院地図で調べ、記載条件に合致する市境の山が、送電線鉄塔「南いわき幹線 No.54」のある、三等三角点峰（点名「山神前」693.14m）と判断し、登ってみた。

国道 349 号の旧「三阪山荘」から車を取り入れ、伐採地付近の林道脇に停めて登り始める。目標の鉄塔 No.54 は、すぐ近くに見えたが、茨が多く難儀した。また、山頂近くは藪が濃く、なんとか三角点ピークにたどり着く。あまり展望は良くないが、藪越しに蓬田岳が見えた。

少し下って鉄塔 No.54 の下を通り、神社ピークに向かう。神社と言っても社や祠はなく、「大山住神社」と刻まれた石碑が立っているだけ。祭神は、伊邪那美命や火産靈命ではなく、大山祇命か。三角点ピークより、こちらの方が眺めは良く、那須連山も望めた。付近に丈 1 m ほどの苗木が一行に植えられており、樹間が狭く下刈り管理も十分なので、花木によさげだ。沿って少し下ったが、ずっと麓の方へ続いていたので、折り返して神社ピーク、鉄塔 No.54 と戻る。

下山は、鉄塔 No.54 から管理道で平田村の大字北方字羽貫田に下り、舗装路を歩いて村境を越え、林道に停めた車に戻った。道が細く駐車場所に苦労するだろうが、字羽貫田から鉄塔管理道で登るのが楽であり、オススメである。

文責：太

タイム

12：20 伐採地・林道→12：45 頂上(三角点ピーク)→12：50 鉄塔 No.54→12：55 神社ピーク→13：20 鉄塔 No.54 管理道入口→13：40 伐採地・林道



栄蔵室（881m）・花園神社奥乃院峰

2022 年 1 月 3 日（月） 太

2022 年登り初めと初詣を兼ね、栄蔵室と花園神社奥乃院峰を登った。

午前 9 時半に花園神社駐車場に到着。駐車場奥から花園山の登山口まで栄蔵室林道を歩く。登山口は林道の急カーブの頭にあるが、クサリが掛っている。越えて杉林の沢地形の中を登っていく。沢の頭、コルからは土塁に沿って登り、一度下って登り返すと山頂。「花園山山頂 798m」の立札がある。ベンチも置かれているが、三角点はない。見晴らしは、枝を透かして北茨城市街が見える。

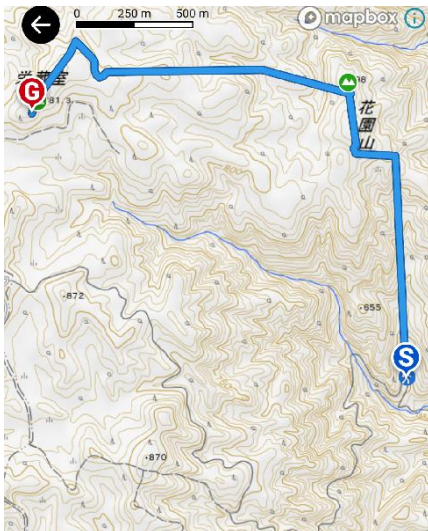
少し戻って分岐で尾根から下ると、雑木林の中を緩やかに流れる小川に出合う。笹平と呼ばれる場所を通して、分岐で栄蔵室方面へ登り、杉林の中を進むと、砂利道につながる。防災無線中継局の前を過ぎると、左側に擬木の土留め階段の道があり、登った先が栄蔵室の山頂である。一等三角点（点名「栄蔵室」881.32m）標石の傍には「茨城県最高峰 栄蔵室山頂」と記された標柱とベンチがある。その少し先の木製の展望台デッキまで行ったが、見えるはずの富士山は見えなかった。ここで折り返し、来た道を下山、林道を歩いて花園神社の奥乃院石鳥居の前に移動した。

鳥居をくぐって進むと、七ツ滝。周囲は凍っていたが、水は流れ落ちていた。その先、石段を登って、滝の中段までいくと、クサリ場が始まる。登り切ると、石祠があり、傍らに「花園神社奥之宮」の石柱、背後に「奥の院峰」の立札が立つ。奥乃院（奥宮）である。ここから遥かに太平洋が望め、爽快である。奥へと進むと分岐があり、直進すると栄蔵室林道だが、左に下ると周回コース。周回コースで下った先に月山の石祠、少し戻って下ると男体山の祠、また少し戻り下ると女体山の石祠、と続く。女体山から沢に入り、クサリもある急な道を栄蔵室林道まで下る。林道を歩いて神社駐車場まで戻り、花園神社（里宮）に立ち寄ってから帰宅した。

文責：太

タイム

9：45 花園神社駐車場→10：00 花園山登山口→10：50 花園山→11：10 笹平→11：40 栄蔵室→11：45 展望台デッキ→12：20 笹平→13：15 花園山登山口→（奥乃院石鳥居へ）
13：30 奥乃院石鳥居→13：40 七ツ滝→13：55 奥乃院（奥宮）→14：10 月山→14：15 男体山→14：20 女体山→14：40 林道出会い→14：45 奥乃院石鳥居→15：10 花園神社（里宮）



1月登山教室「雨巻山登山」

2022年1月9日（日）

登山教室生9名 山岳会 10名

まだ夜が明けない暗闇の中いわきを出発、茨城の高速道路を走るところに周囲が明るくなり初め、6日に降った雪が残る景色を眺めながら、栃木県益子町の大川戸登山口に到着しました。

今日登るコースは、大川戸登山口→足尾山（413.1m）→御嶽山（433.0m）→雨巻山（533.3m）→三登谷山（433.0m）→大川戸登山口のコースです。

サクサクと霜柱を踏みしめながら教室生、山岳会の順で登り始めました。山には所々雪が残っていましたが、風は無く、快晴に恵まれ、登山日和となりました。4つの山を登ったり、下ったり、雨巻山の展望台から富士山とスカイツリーを望み、アイゼンを装着して歩いたり、初登山として素晴らしい山歩きを体験する事が出来ました。

今回の山行中に、道迷いがありました。標識を見ていたのですが、前の人が進んだから大丈夫だろう、この方向でも行き方があるのだろうと勝手に思い込み、前方を行く集団に付いて行ってしまいました。山岳会の先輩方から、「交差点では原則待っていること」と厳しく指導を受けました。今回は気付いてくれる人がいましたが、笑い話では済まなくなる事も考えられます。分岐点では地図とコンパスで確認することを肝に銘じたいと思います。

私は、栃木県足尾町足尾銅山の出身です。無知な私は、登山教室で渡された雨巻山のパンフレットを見て「えっ、足尾に足尾山なんてあったっけ？」と思いました。

パンフレットを良く見ると益子町である事が分かりましたが、足尾や清滝、なんだか懐かしい名前を見て登ってみたいと思いました。三登谷山からは雪をかぶった男体山が見え、故郷に思いを馳せた山行となりました。

文責 佐藤（秀）



男体山



足尾山（あしおさん）



三登谷山（みつどやさん）

1月登山教室「雨巻山」

2022年1月9日（日）

参加者：教室生 青天目 山中 西 安部 佐藤(秀) 佐藤(春) 須藤 西田 猪狩 9名
山岳会 10名 計19名

“かげつ斎苑湯本前駐車場”を3台の車に分乗し出発。7時49分到大川戸登山口駐車場（50台収容可・トイレ有）に到着した時には、すでに車が数台停まっており、“人気の山”という事で、早めの出発で正解でした（9時30分には満車になったそうです）

登山口を出発してすぐ、「おーい そっちじゃないぞ」の声。向かっていたのは、近くにあったPIZZA屋さんに通じる道？ 仲間とおしゃべりをしていて、看板と建物の煙突から出ている煙に誘われるかのように道を間違える!! 「これはしっかりしないと」と気を引き締めたが、次の分岐点でまた、判断ミス。沢コース、尾根コースがあり予定の清滝に行くには、沢コースを選ばなければならない所を“尾根コース”に進もうとし、ストップがかかる。本日のコースが、しっかり頭に入っていなかった!!

清滝は残念、水が流れていなかった。足尾山から御嶽山までは距離は短かったが、岩場の登りで結構きつかった。冬なのに、汗ばんでくる。途中、アイゼンを装着。私にとって、初アイゼン。家で装着の予行練習をしてきたので、ここはスムーズに。

猪も転げ落ちるという、“猪転げ（ししころげ）坂”は、一直線の道がジグザグ道に整備されていた。

雨巻山山頂到着後は、南にある展望台で運が良ければ見える、という「富士山」探し。あきらめの早い私は、見つけることなく展望台を降りる。が、富士山は並外れた高い位置に姿を見せていたので。その後、テーブル・椅子が置いてある、この広い山頂で昼食をとる。三登谷山手前でも富士山が見えるかもしれない、という事で期待しながら進むと、見えました!! その美しい姿に感激。そして最後。

またまた、「ちょっと待った」の声に立ち止まる。分岐点での確認を見逃す。リーダーとして課題の残る山行でしたが、皆さんの笑い声と、風の無い良いお天気と、富士山が見えたことで救われました。

文責 猪狩（由）



アイゼンの着装



猪転げ坂

かげつ斎苑湯本出発 5:45 → いわき湯本 IC → 水戸 IC → 大川戸登山口駐車場 7:50
8:08 → 清滝 8:38 → 足尾山 9:07 → 御嶽山 9:25 → 雨巻山 10:50 →
展望塔・昼食 11:00~11:30 → 三登谷山 12:20 → 駐車場 13:18 → 真岡井頭温泉
14:20~15:20 → 真岡 IC → いわき湯本 IC → かげつ斎苑湯本 17:10 到着



2022年 初登山教室 今年もよろしくお願いします。



雨巻山頂から望めた “富士山”

三座縦走（鶴石山～三大明神山）

2022 年 1 月 9 日（日） 太

ニツ石山周辺で三大明神風力発電所の建設工事が令和 6 年まで行われる。現在は樹木伐採作業中だが、作業お休みの日曜日に、なるべく作業現場に立ち入らないよう注意して三座を歩いた。

午前 11 時過ぎに鶴石山山頂少し手前、鶴石山林道の路肩に駐車。林道脇の牧場跡地からは、工事はまだ見られない。電波塔管理道で鶴石山山頂まで行く。防災無線中継局の右奥に三等三角点（点名「鶴石」767.19m）標石があり、手づくり山名板が樹木に架けられている。

電波塔管理道入口の少し先に樹木伐採作業道（ブル道）入口があった。並んで登山道入口もあるが、トラロープで閉鎖。藪の中を登山道に沿って歩く。ブル道も登山道にほぼ並行している。赤ペイントの樹木と旗ポールで区分された作業エリアに立ち入らないように歩く。もともと落葉樹林内の笹原なので登山道外でも歩きやすい。時おり登山道とブル道が交差、風車ヤード予定地に出合う。

742m、722m、702mと尾根ピークは少しずつ低くなるが、ときおり樹林の切れ間で屹兎屋山、水石山、関伽井嶽など望める。また、たまに振り返ると、独特の山容の矢大臣山、その奥に、どっしりした大滝根山がはるかに見える。樹木伐採で見晴らしが良くなったようだ。

尾根を登り返したニツ石山は、昨年末登ったときと同じで、ブル道に囲まれるが、山頂付近の樹林はそのまま。一等三角点（点名「ニツ石山」750.75m）標石と山名板及び方位版もそのままだった。

ニツ石山を下って林道に出る登山道入口は、ロープで閉鎖。ブル道入口はその少し先。林道を歩いて三大明神山に向かう。東北電力の電波塔近く、三大明神山頂入口は、伐採作業で登山道が閉鎖されていた。ちょっとだけ失礼して山頂（706m）まで行く。山頂の山名立札もそのままだった。ひと休みして、折り返す。せっかくなので電波塔管理道脇の藪の中、四等三角点（点名「三大明神」682.78m）標石を踏む。鶴石山の駐車場所までは、ほぼ往路をそのままに戻る。

文責：太

タイム

11：15 駐車場所（鶴石山林道）→11：25 鶴石山→12：45 ニツ石山→→13：35 三大明神山
→14：35 ニツ石山→15：35 鶴石山→15：45 駐車場所



鶴石山から三大明神山まで往復。鶴石山の電波塔と三大明神山の電波塔



鶴石山林道の作業道入口。登山道入口は右端奥



矢大臣山、大滝根山



ずっと続く作業道。中央奥がニツ石山



屹兔屋山、水石山、関伽井岳、太平洋

スキー合宿（猪苗代）

2022年1月10日(月)～11日(火) Vol.1

下山田、秋葉、尾形、栗崎（透）、栗崎（容）、野木、山中、安部（10日）

2022年1月18日(火)～19日(水) Vol.2

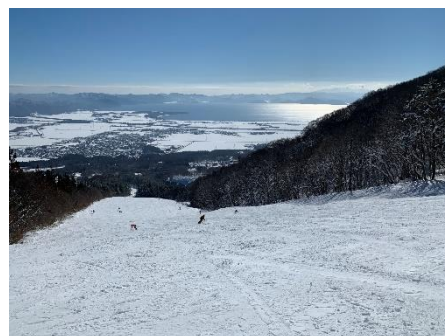
下山田、秋葉、尾形、栗崎（透）、栗崎（容）、野木、山中、（宿泊のみ）芳賀

Vol.1

1月10日

天気は快晴！絶好のスキー日和になりました。初参加の安部さんが加わりゲレンデでスキーレッスン、ボーゲン、斜滑降、ギルランデ、パラレル等のスキー基礎レッスンを秋葉さんにいただきました。

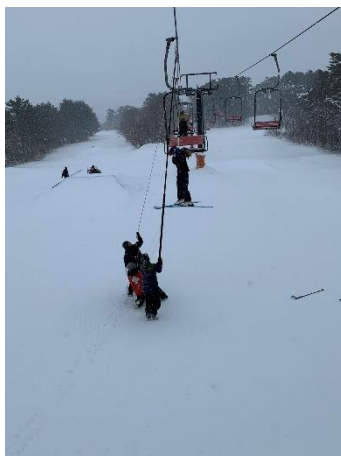
午前中は雪質も良く足慣らし、午後からはバンバン滑りました。



1月11日

天気は曇り、この日はスキーにシールを付けてスキー登山のトレーニングをする予定です。ゲレンデトップにリフトを乗り継いで向かっていたところ、リフトが突然停止！また初心者がリフトに乗るのに手間取っているのかと思っていたら、しばらく経っても動く気配がありません。状況説明のアナウンスも無くイライラしているとリフト故障を告げる係員が上から滑って来ました。我々はリフトから救助されることになりました。救助されるまでは40～50分もかかりました。貴重な体験することになりましたが寒い中長く待たされ救助されるのは二度とされたくないです。

ゲレンデトップそばのリフト故障で人がいないゲレンデでシールを付けてスキー登山の練習をしましたが、早々に切り上げました。



Vol.2

1月18日

前夜の雪で新雪が残るグレンデでスキー基礎レッスン、雪質も良くスキーが上達したかもと錯覚しそうな感じでした。ただし大変寒い一日でした。手袋をしていても指先が冷えてきて何度もレストハウスで休憩しながら滑りました。

1月19日

この日の午前中はグレンデチームとスキー登山チームに分かれて滑ることになりました。ミネロのグレンデトップまでは一緒に行ってグレンデチームとは別れました。スキー登山チームは赤埴山山頂を目指して登りました。1時間少して山頂に到着しました。山頂の目の前には磐梯山が雄大に望めるとのことですがこの日は望めず残念でした。下りはスキー板が雪の中に埋まる状況での滑りです。転ぶとなかなか起き上がれません。雪の負荷がかかり足が張ってきます。でもおもしろいです！楽しめます。午後はグレンデを軽く滑って合宿が終了しました。



(文責：山中)

ニツ箭山の氷瀑

2022年1月23日（日） 太、山縣、菊地、西、二瓶

ニツ箭山の氷瀑が美しいと聞き、沢コースで登り周回した。

一週間前は、もっと大きな氷瀑が見られたとの話も聞いたが、なかなかのもので、市内でこれだけのものが見られるのは貴重である。

文責：太

タイム

9：10 登山口駐車場→10：20 〆張場→12：00 ニツ箭山→12：20 月山→13：20 登山口駐車場



鬼太郎山（750m）

2022年1月23日（日） 太

鬼太郎山（おにたろうやま）は、いわき市と檜葉町との境界に近い川内村にある。いわき市全図を見ると国道 399 号で上小川戸渡を過ぎた先の東側に標高もなく名前だけ記されていると思う。漫画の主人公のような山名であるために、幼い頃から気になっていた。今回やっと登った。

ネットで探すと、南側林道から送電線鉄塔巡視路を使って登った山行記録があったが、山頂周囲が酷い藪というので、北から山頂東側の登山口まで通じる林道を使った。

旧県道 250 号で下川内貝ノ坂を過ぎ、檜葉町井出に向かう峠で右折して「乙次郎（貝ノ坂）林道」に入る。入口を見落としやすいので注意。細い砂利道を 5km ほど走った終点が登山口である。登山口には（仮称）川内鬼太郎山風力発電事業で設置された「林道登り口 2」案内が樹木に架けられている。案内には 4 号機まで 500m、5 号機まで 500m と記され、樹木に小尾根の上までロープも架かっている。大尾根に出て南に進むと「4 号機」案内があった。ここが 4 号機風車ヤードとして造成される場所。案内には計画高 722.00、現況高 723.40 とあるので、1.4m ほど削って風車を設置するのだろう。

山頂は、その先で、計画では「3 号機」風車が設置されるあたり。少し下って登り返すと、雑木林に覆われた山頂に出る。山名札も標石もなく、拍子抜けだが、電子地図によると、確かに山頂。見晴らしは得られなかったが、長年の興味が達成された。

下山は、登ってきた道を外れて、少し散策してみたが、まだ伐採、造成などの風力発電所建設工事は始まっていなかった。大尾根からは、時おり冬枯れの枝越しに川内村の田畑や、万太郎山に大滝根山、富岡町の向こうに太平洋などが見えた。風車が完成すると、ランドマークとなって、そちらから見た鬼太郎山の風景も変わるだろう。

文責：太

タイム

15:25 登山口「林道登り口 2」→15:40「4 号機」風車予定地→15:45 鬼太郎山山頂
→16:00「4 号機」風車予定地→16:15 登山口「林道登り口 2」

